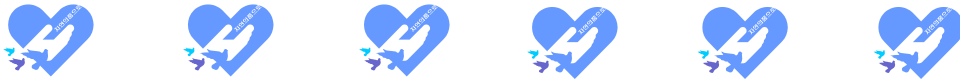




新年おめでとうございます



福岡県労働者福祉協議会
会長 高島喜信

新年あけましておめでとうございます。旧年中の福岡県労福協に対します格別のご支援に対し厚く御礼申し上げます。

昨年の国際協同組合年の取組みを通して、雇用機会の創出、また、地域コミュニティを再構築するため、地域に根ざした運動の展開、そして、共助の仕組みに参加できていない人たちに共助の輪を拡大していくことなどを中心に議論を深めてきました。本年はこれらの課題について、単なるスローガンや抽象的な議論に終わらせることがないよう、各団体の協力のもとに行動に移していかなければなりません。

また、昨年、最後のセーフティネットである生活保護制度の機能を損ないかねない「生活保護バッシング」とも言うべき乱暴な議論が一部で繰り返されましたが、問われるべきは、フルタイムで働いても食べていけない、働きたくても働けない社会の有り様にあることから、私たちは、生活保護制度が“いのちの最終ライン”であるという認識を改めて共有すると共に、生活保護に至る手前でのセーフティネットの構築や所得の再配分機能の強化に向けた取組みを強化することが必要です。

厳しい生活環境の中にあって、「生活者が抱える色々な悩みや不安を一緒になって問題解決を図る」ということを目的に設立された「ライフサポートセンター」も5年目を迎えます。昨年は相談窓口の体制強化を図り、未組織、非正規の労働者をはじめ多くの県民の皆さまからの相談に応じて参りました。本年は更に組織の充実をめざしていきます。

時代は大きく動いています。諸課題を克服していくためには、私たち労働運動、労働者福祉運動に求められている役割と責任は益々大きくなっています。よって、新しい時代のステージをみずから手で創造していくことが私たちの使命であるという気概で、この一年間ともに頑張りましょう。

最後になりましたが、2013年が会員の皆さまとご家族の皆さまにとって、実り多い年でありますよう、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



労働者福祉中央協議会
会長 古賀伸明

新年明けましておめでとうございます。

昨年の国際協同組合年にあたり、中央労福協は協同組合の社会的価値の浸透や利用促進に向けて全国的なキャンペーン活動を展開してきました。改めて皆さまのご協力に感謝感謝申し上げます。

この取組みを通じて、協同組合と労働組合との連携強化についても様々な議論を行ってきました。私からも、最も共助を必要とする人たちが共助の仕組みに参加できていない現状を指摘し、共助の輪を拡大していくことの重要性を問題提起しました。たとえば、非正規労働で失業し、公的な所得保障が充分ではない人たちを対象とした共済・融資や、リスクをみんなでシェアする基金のような仕組みがつかれないかということです。

今年はこうした課題について一歩踏み出し、具体的な形にし、労働組合と協同組合が手を携え、できることから行動に移していく年にしたいものです。

師走の総選挙の結果、新自由主義・「弱肉強食」社会への回帰も懸念される政治状況になっています。社会の不安定化が許容限度を超え、社会の持続性そのものが問われる中で、これ以上の貧困・格差の拡大、生活や労働の破壊を許すわけにはいきません。前政権の成果である社会的包摂政策や「生活支援戦略」を後退させず、生活困窮者が貧困や社会的孤立から脱却していけるような寄り添い型の生活就労支援体系を整備していくことが切実に求められています。

市場経済だけでは解決できない諸課題を克服していくために労働運動や協同組合運動に求められている役割と責任は益々大きくなっています。国際協同組合同盟（ICA）は昨年10月に「協同組合の10年計画」を決定し、経済・社会・環境の持続可能性を高めることにおいて協同組合がリーダーシップを発揮することを目標に掲げ、新たな挑戦を開始しました。

私たちも、国際協同組合年の取組みを契機として「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向かって確信をもって進んでいきましょう！



福岡県知事 小川 洋

あけましておめでとうございます。

福岡県労働者福祉協議会の皆さまには、県政の発展と労働者福祉の向上に多大なご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

我が国は、東日本大震災からの復興、エネルギーの安定供給、経済・雇用、社会保障と税の一体改革など、課題が山積し、まさに正念場にあります。こういう時こそ、一人一人が元気を出すこと、地域が特性を生かして発展していくことが求められます。

将来の生活に不安があれば、人は幸せを感じることはできません。まずは、景気を回復させ、雇用の確保に取り組みます。現在、「グリーンアジア国際戦略総合特区」の制度を活用した設備投資が次々に始まっており、これを起爆剤として、福岡県を元気にしていきます。

また、本県雇用の8割を担う中小企業の経営安定と発展のため、経営改善と金融の一体的、総合的な支援を行います。子育て、介護など日常生活に身近な分野の事業化を進めるとともに、若者、中高年、子育て女性など年齢や個別状況に応じたきめ細かな就職支援を行い、一人でも多くの雇用をつくってまいります。

新しい年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



福岡県生活協同組合連合会
会長理事 宮崎 正義

新年あけましておめでとうございます。

福岡県労働者福祉協議会の会員の皆さまには、日頃より「ふくし情報でんわ」等の共同利用につきまして、多大なご協力をいただいていることに感謝とお礼を申し上げます。また、2012年度全県で開催された地域労福協研修会において福岡県生協連の活動紹介等の機会をいただきましたことに、あらためて感謝とお礼を申し上げます。

福岡県生協連は、この一年間消費者被害防止と消費者行政の推進、食の安心・安全を求めての取り組み、大規模災害に備えた取り組み、地球温暖化防止の推進、核兵器の廃絶に向けた取り組み等、重点的に進めてまいりました。特に、2012年の国際協同組合年の取り組みは、IYC福岡として新たな協同組合間協同が推進できた年でもありました。

消費者行政推進と消費者被害防止の取り組みでは、NPO消費者支援機構福岡との連携で昨年11月13日、適格消費者団体の認定を受けました。今後は、適格消費者団体として付与された差止請求権の行使も視野におきながら、消費者の権利確立を目指す各種活動にさらに邁進していくところです。

私たち生活者を取り巻く環境は、地球環境の深刻な状況、人口増と食糧不足の問題、世界同時不況と経済危機の問題、平和と核廃絶の問題等、あらゆる場面で危機的な状況があります。その様な情勢の中で、生活協同組合は地域社会への貢献が求められております。それは安心できる地域社会作りへの期待が、生活協同組合に寄せられているということであり、私たち自身が自らの社会的な役割を主体的に行動することでもあります。

新年の初めに、地域社会の一員として、暮らしを守りよりよい社会をめざす生活協同組合として、新たな決意を持って奮闘せねばならないと考えております。

今年も旧倍のご厚誼を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



北九州総合労働会館
理事長 末廣 勝嘉

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、北九州総合労働会館(真鶴会館)の事業運営に対しまして、事業団体をはじめ各労働団体や会員各位の皆さま方に、ご支援とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年は、大きな懸案事項となっていました新公益法人制度改革に伴う方向性を決める第39回臨時総会を9月に開催し、一般社団法人の認可を取得することを会員の皆さまのご理解をいただき決定いたしました。今年は期限である平成25年11月末までの早い時期に一般社団法人に確実に移行させたいと考えています。

労働会館も開館から33年目を迎え、「中期経営5ヵ年計画」の4年目の事業運営に入っていますが、取り巻く厳しい環境の中、平成24年度の事業計画の完遂に向けて、役職員一丸となって頑張っているところです。厳しい環境にはありますが、入館いただいております事業団体や労働団体の皆さまをはじめ、勤労市民の方々が安心して快適にご利用していただくよう、役職員一丸となって最大限の努力をしております。

本年も引き続き、北九州総合労働会館に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



九州労働金庫福岡県本部
本部長 山城正一

新年あけましておめでとうございます。
会員・組合員の皆様におかれましては新しい年を迎え心も新たに次代への挑戦が始まったことと存じます。足を止めてこれまでの歩みを振り返り、一呼吸おくことも大切ではないかと思うのですが、時代は立ち止まってくれませ

ん。なんともあわただしい時代になりました。労働金庫の活動もそうした時代背景を乗り越え、将来ともに健全であり続けるためには、労働金庫の原点である「協同組織の福祉金融機関」として「助け合い」を忘れずに、その理念を追求することが大事だと考えています。

社会情勢は、社会保障への不安や少子化の進展、長引く経済の低迷など多くの課題を抱え、働く皆さんの環境はやさしくないのが現状だと感じています。こうした時代だからこそ、労働金庫は金融の専門家・プロとしてお金にかかわる多くの課題に対して、お役に立てるよう頑張っていきたいと思

います。役職員一人一人の力の結集と総合力を発揮し、会員の皆さん、利用者の皆さんに信頼され利用していただける労働金庫になるよう全力を挙げる決意を申し上げ、新年のご挨拶とします。

本年もよろしくお祈りします。



全労済福岡県本部
本部長 島村幸利

“もやいの心で50年”
新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、全労済の諸活動に対して格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年が皆さまにとって輝かしい年になりますようご祈念申し上げます。

さて、全労済福岡県本部(福岡労済)は、今年の11月1日をもって創立50周年を迎えます。福岡県本部としては、創立50周年の大きな節目に、これまでの労働者共済運動の歴史を振り返り、創り・育て・発展させていただいた皆さまに感謝をあらわすとともに、さらなる50年に向けて「たすけあい」の運動を広げ、確固たる経営基盤の確立を目指しています。

皆さまと決めた「もやいの心で50年」を合言葉に、労済運動に集う皆さまへ感謝の気持ちを伝え、「たすけあいの輪」をさらに広げるために、記念事業の開催等に向けた準備を行っていますので、諸活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後につきましても、業務革新の実行により組合員、協力団体の皆さまの満足度を高め、「組合員の全労済」を目指してまいります。本年も皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

ZENROSAI NEWS

本年も全労済を
宜しくお祈り申し上げます。

全労済福岡県本部
(福岡県労働者共済生活協同組合)

本部長
島村 幸利

副本部長
品川 浩二

副本部長
鈴木 宝一

副本部長
角田 昭一

専務執行役員
岩木 克明



謹賀新年

本年も九州ろうきんを
宜しくお祈り申し上げます。

九州労働金庫福岡県本部

本部長 山城正一
役職員一同

はたらく人の、生活応援バンク



福岡市中央区大手門 3-3-3

TEL 092-714-7143

保障のことなら 〒810-8611
全労済 福岡市中央区舞鶴1-1-7
TEL 092-739-6100

全国労働者共済生活協同組合連合会 <http://www.zenrosai.coop/>
全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

40122003



地域の労働者福祉運動の
より一層の拡大・発展に、
本年も頑張ります。



北九州地域労働者福祉協議会

会長 品川 浩二
事務局長 中間 徹



京築・田川地域労働者福祉協議会

会長 小山 巖
事務局長 安藤 正宣



遠賀川地域労働者福祉協議会

会長 川畑 哲実
事務局長 寒竹 準一



福岡地域労働者福祉推進協議会

会長 矢田 信浩
事務局長 桑原 忠志



筑紫・朝倉地域労働者福祉協議会

会長 井本 雅晶
事務局長 小森 幸雄



北筑後地域労働者福祉協議会

会長 藤田 桂三
事務局長 伊藤 正美



南筑後地域労働者福祉協議会

会長 堤 隆弘
事務局長 本田 賢治



福 ♥ 祉 ♥ 募 ♥ 金

ご協力をよろしくお願ひします。

取組期間：2012年12月1日～2013年3月31日

会員及び構成組織で集まった募金は、当該の地域労福協又は福岡県労福協の指定銀行口座にお振込みください。

南筑後地域労福協



京築・田川地域労福協

遠賀川地域労福協



2011年度の贈呈式模様(贈呈物品の目録授与)